


タチモ	<i>Myriophyllum ussuriense</i> (Regel) Maxim.	絶滅危惧I類
(環境省:準絶滅危惧)		アリノトウグサ科
選定理由	生育地が限定されており、大部分の生育地で個体数の減少が著しいため。	写真(清水英彦)
形態の特徴	茎はフサモ属の中では最も細い。浅い水辺では沈水葉をつけませんが、水深が深いところでは沈水葉を多くつける。葉は3-4輪生。沈水葉は長さ5-25mm、羽片の長さは大きいもので13mm、羽片数は片側で5-10個。抽水葉は花序の下にのみ付き、長さ10mm前後、羽片数は少ない(5対未満)。花期は6-9月。雌雄異株で、花は抽水葉の腋につく。殖芽は細長い。	
生態的特徴	貧栄養の湖沼や溜池に生育する多年生の沈水または抽水、湿生植物。	
分布状況	北海道～九州に分布し、岐阜県では県南の中部と東部のため池に分布する。	
減少要因	水辺環境の改修工事、水質悪化。	
保全対策	開発行為からの生育環境の保全。	
特記事項		
参考文献	角野康郎. 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版, 東京.	

文責:清水英彦